

「みなさんから大きな財産を頂きました」

国際ロータリー第2640地区IM2組

ガバナー補佐 竹腰 勉 (海南西ロータリークラブ)



2005－2006年度の地区ガバナー補佐を拝命することになり、平尾ガバナーさんの補佐役としてその責任の重大さに身の引き締まる思いでスタートして早や、今年度の前半期の活動を終えることが出来ました。

この半年間、大勢のロータリーの皆さんと接し、勉強させて頂いた事でかけがえのない大きな財産を頂きました。

私はIM2組の5クラブ(海南東RC・有田南RC・御坊東RC・有田2000RC・海南西RC)を担当することになりましたが、他の各クラブのことは未知の為、同組ガバナー補佐先輩の田中 良典ガバナー補佐さん(有田南RC)のご指導を頂き、まず、各クラブへメイクアップさせて頂き挨拶回りから始めました。

その後再度、各クラブへ出向き会長・幹事さんとのクラブ協議会の日程等の打ち合わせの懇親会に訪問するうちに会長さんのクラブの運営方針・活動の取り組みへの熱意と意気込みを感じ、それぞれクラブのカラーを把握することが出来ました。

私はガバナー補佐として各クラブ協議会に参席させて頂き、心を打たれたことは、会員の多いクラブも、少数のクラブも関係なく、共通の特質はひとり一人のローリアンが積極的に活動するという理念を基盤として、それぞれのクラブに合った活動を立案し、ボランティア精神を發揮して実施に努力をしていたことであります。

各クラブの奉仕活動の一例をあげますと、海南東RCはWCS事業としてフィリピンへパソコン50台を寄贈、又2月に海南西RCと合同で現地へ視察、有田南RCクラブは地域に密着した奉仕活動で毎年継続事業のブックスタート事業、御坊東RCは行政参加の日高川のクリーン作戦と称して地元の人達と共同の清掃作業、有田2000RCは地域に貢献する事業として地元の子供達に図書の寄贈、海南西RCは毎年参加している和歌山身体障害者の登山サポートの協力、等々の計画と実施。

このように各クラブのひとり一人のロータリアンがロータリーの理念と奉仕活動をより理解し、熱意をもって奉仕活動に取り組んでおり、その奮闘する姿は実に美しいと実感しました。

私はこの半期間、ガバナー補佐として各クラブの皆さんと出会い、接する機会を与えて頂き皆さんからあらためて、行動を促すパワーと感動的なメッセージを与えて頂いた気がしております。心から感謝します。

これからの下半期をガバナー補佐としての責務を徹力を尽くしたいと念じております。よろしくお願ひ申し上げます。

(RI第2640地区マンスリーレター・2006年3月号より)